

災害から身を守るために

正確な情報で、命を守る

甚大な被害をもたらした能登半島地震から2年。現地では当時、道路の寸断や停電が起こり、通信網も損傷して深刻な情報不足が発生しました。12月には青森県で、震度6を超える地震が発生し、その後1週間「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。

いざという時のために、確実な情報をいち早く受け取れる準備をしておきましょう。

「その時」に役立つ情報ツール



おおぶ防災行政ナビ

災害時に起こる通信トラブルに備えて、確かな情報を受け取れる手段を日頃から何種類か確保しておくことが大切です。

市が提供する「おおぶ防災行政ナビ」は、市内の避難所や被害状況などについて市職員が確認して発信するため、信頼性の高い情報を受け取れます。

特徴1

市の災害情報のプッシュ通知

- 市が発信する避難指示・避難所情報
- 気象警報・災害に関する緊急情報
- 防災行政無線の放送内容



特徴2

今いる場所の安全情報

- 現在地に応じた避難所の表示
- ハザードマップで危険箇所を確認
- 防災ガイドブックをアプリ内で閲覧可能

特徴3

災害時に必要な情報がまとまり、音声や多言語でも

- 災害時に必要な情報が1つのアプリに
- 気象・ライフライン・ハザードマップなど
- 音声読み上げ機能(日本語)
- 多言語に対応(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語)



おおぶ
防災行政ナビ



家族と自分を守るため、備えは今から。

アプリはこちらから



『ちたまる安心安全メルマガ』

スマホを使用していない場合でも、気象警報や防災情報をメールで受け取れます。



ちたまるNavi(外部サイト)